



県教連の未来を見つめて



山口県教職員団体連合会 第30代委員長 小坂 朝之

この4月から、会員の皆様の信任を受け、山口県下最大の教職員団体の委員長という大任を仰せつかり、身の引き締まる思いです。微力ではありますが、未来を担う子供たちのためのより良い教育と、その教育現場を支えるたくさんの会員の皆様のために、県教連の理念を胸に刻み精一杯努力いたします。どうぞよろしくお願いたします。

「情熱・英知・団結」

さて、県教連は、結成当初から というスローガンを掲げています。県教連の会員は、子供のことを第一に考えた教育を目指す熱い思いをもち、常に資質向上に努めながら、お互いを助け支え合う仲間なのです。

現在の教育現場では、学力向上、英語教育の推進、道徳の教科化、コミュニティ・スクール等、数々の教育施策に基づいた多様な業務を要求されています。それぞれは子供の教育にとって意味のあるものかもしれませんが、しかし、その対応に追われ続けている結果、目の前の子供と向き合うという一番大切なことができにくくなるという本末転倒な状況に陥っているのではないのでしょうか。私たちは、「情熱・英知・団結」をもって、この状況を打開しなければなりません。

「子供に夢を 職務に誇りを」

また、県教連にはもう一つのスローガンがあります。教育の主体は子供です。私たちは夢を与える山口県教育を支えているという誇りを持ち、活動

発行 山口県教職員団体連合会 代表者 小坂 朝之 編集人 山本 純 山口市大手町教育会館内 電話 (083) 922-2049番 FAX (083) 921-0907番 E-mail: kyoren@orange.ocn.ne.jp ホームページ http://www.kenkyouren.com



続けていきたいと考えます。その実現のために、教育環境・勤務条件の改善を求める「交渉活動」を行います。それと同時に、自身の資質能力の向上を図るために、研修活動を行い、質の高い教育を提供できる力を養います。より良い教育の推進のために、県民からも理解され、必要とされる県教連を作っていきたいと考えています。しかし、憂うべきことに、教職員団体の加入率が低下してきています。特に、若い教職員の加入は伸び悩んでいます。10年後の未来を見つめた時に、現状は決して楽観視できません。県教連が10年後も今と同じようにあり続けるために、(それは10年後の子供たちのためにもなる)多くの新しい仲間を迎え入れるように努力しなければなりません。60年を超える県教連の歴史は、山口県教育を正しい方向へ導いてきました。未来もそうあり続けるために、県教連事務局は最大限の努力をしてみたいです。会員一人一人の力が、県教連の大きな力となります。二年間、ご支援ご協力よろしくお願いたします。

浅原教育長と懇談



4月21日、浅原教育長と懇談を行いました。話題は今年度山口県が力を入れているコミュニティ・スクールを核とした「やまぐち型地域連携教育推進事業」に関することや、土曜日の教育活動、職員団体の現状など多岐にわたりました。県教連からは、現場の実情を伝えると共に、県が行う事業について、明確に説明をしていただくようお願いしました。また、今年度で4回目を迎える親守詩について、その趣旨や昨年度での全国大会結果などについて説明したところ、親守詩にも関心を示され、また、公務ご多用の中、県教連の活動にも理解を示していただき、和やかな雰囲気となりました。

全日教連が行く!



県教連副委員長 (全日教連事務局長) 古川 俊裕

本年度、全国の全日教連会員の皆様の信任をいただき、全日教連事務局局長の大任を務めさせていただきます。ことになりました古川俊裕です。県教連の皆様、本年度もどうぞよろしくお願いたします。

さて、昨年のこの時期、全日教連の仕事について分からないことばかりの状況だったことを覚えていません。教師になりましたら、右往左往しながら、がむしゃらに突っ走って仕事をしていたのと似ているような感じでした。一年が過ぎ、現在は多少見通しを持って仕事をすることができるようになりました。新たな事務局局長という大任を仰せつかり、また一からのスタートという仕事も多々ありますが、大変なポジションではありません。自分らしく事務局局長の任を一年間全うしたいと思います。

現在、教育再生を掲げる安倍政権のもと、道徳の教科化や英語教育の拡充、幼児教育の無償化、高校大学の接続、貧困による教育格差の是正等の議論が進められています。教育に国が責任を持つということは、とても重要なことです。しかし、学校現場の実態に即した実効性のないものとなつては、子供たちはもちろん教職員に対して負担を強いるだけのものになりかねません。日本の未来を担う全ての子供たちにとってより良い教育環境を提供できるように、そして、学校現場で歯を食いしばって頑張っている先生や教職員の皆様のために、文部科学省や国会議員等に学校現場の声を今後もしっかり届けたいと思います。会員の皆様には、県教連行事や全日教連行事に積極的に参加していただき、県教連や全日教連の必要性を肌で感じ、県教連に仲間を増やしていきたい。多くの同志を作ることが、今後の山口県や日本の教育を良くする第一歩だと思っています。自分自身のためだけでなく、広い視野で教育を語ることができる教育専門職として共に頑張っていきたいと思います。今後とも御協力よろしくお願いたします。

メンバーサポート制度 助成方法の変更について

※現金振込から QUO カード、図書カード併用に変更しました。詳しくは左表をご覧ください。

- <申請方法> ○申請書(ホームページよりダウンロードできます)に必要な事項を記載の上、領収書等を添えて県教連事務局までご提出ください。 <コース> ○研修助成コース上限 5,000 円 ○健康管理コース上限 5,000 円 ○スポーツ・芸術コース上限 3,000 円 <注意事項> 申請期限は、2月末日です。

~500円	500円の図書カード
600円~1,000円	1,000円の図書カード
1,100円~1,700円	1,500円の図書カード
1,800円~2,200円	2,000円のQUOカード
2,300円~2,700円	2,000円のQUOカード+500円の図書カード
2,800円~3,200円	3,000円のQUO
3,300円~3,700円	3,000円のQUOカード+500円の図書カード
3,800円~4,200円	4,000円のQUOカード
4,300円~4,700円	4,000円のQUOカード+500円の図書カード
4,800円~	5,000円のQUOカード

100円未満は 切り捨て